

FOR USE IN JAPAN



取扱説明書

GASHEEN DOME

ガシードーム

T4-209-BR

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はキャンプ用テントとして作られています。

本製品内での薪ストーブの使用はMS1-132-BKに限り可能です。
また、不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、火災に繋がる恐れが
あるため、必ず就寝前にストーブの火が完全に鎮火していること
を確認してください。

安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、
内容を理解してからご使用ください。また、取扱説明書は大切に
保管してください。

目次

はじめに／目次	P01
警告事項／注意事項	P02 - P06
セット内容	P07
製品仕様／各部の名称	P08
設営方法	P09 - P13
撤収方法	P14 - P17
その他の使用方法	P18 - P22
収納・保管方法	P23
快適にご使用いただくためのQ&A	P24 - P27



死亡または重傷などを負う可能性が想定される
内容を示しています。

- テントの中で火気を使用する場合は、使用上の注意事項を必ず守り使用してください。火災や一酸化炭素中毒などにより死に至る危険があります。
- 定期的に換気をしてください。最悪の場合、酸欠により死に至る危険があります。
- 台風や暴風雨などの悪天候時や、それらが予想される場合は速やかにキャンプを中止してください。
- 風速 5 m 以上の場合は設営しないでください。テントが飛ばされたり倒壊し、火災や怪我に繋がる可能性があり大変危険です。また風の影響で煙突からの排気が阻害されるだけでなく、逆流することで「一酸化炭素中毒」になるおそれがあり、大変危険です。
- 風の影響を受けやすい場所や、落石や雪崩、増水のおそれがある場所に設営しないでください。
- 積雪する場所に設営しないでください。雪の重さでテント・タープが崩壊する可能性があります。
- テント内にお子様を残さないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などのおそれがあります。
- テントやストーブに破損や異常が見られた際は直ちにご使用を中止してください。それらが起因して火災や火傷、一酸化炭素等の事故の発生に繋がる恐れがあります。



物的損害の発生または傷害を負う可能性がある
内容を示しています。

- 本製品は常設用ではありません。常設した場合、紫外線などの影響で短期間のうちに劣化し破損します。
- 強風時は設営しないでください。
怪我や破損の原因となります。
- 石や枝など製品を破損させるおそれのあるものを
取り除いてから設営してください。
- 小さいお子様に組立・撤収をさせないでください。
怪我や破損のおそれがあります。
- 安全のため、組立・撤収の際は手袋を着用してください。
- 組立や撤収、使用時に無理な力を加えないでください。
破損の原因となります。
- ポールを伸ばす際は、各節を確実に差し込んでください。
しっかり差し込まずに設営すると破損につながります。
- 突風に備え、ペグやロープでしっかりと固定してご使用ください。
- キャンプ場等で火気を使用する場合は、予め管理者やその土地の
所有者に利用の同意を得てから実施してください。法令や地域の
条例等によって、たき火が禁止もしくは制限されている場所があ
ります。



テント内で火気器具を使用する場合は、必ずお読みください。

テント内での火気器具の使用は大変危険です。記載の注意事項を必ず守り、ご自身で安全を確保したうえでご使用ください。

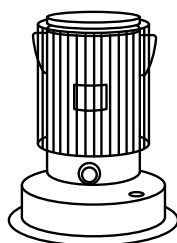
■石油ストーブを使用する場合

- ・使用可能器具：対流形石油ストーブのみ

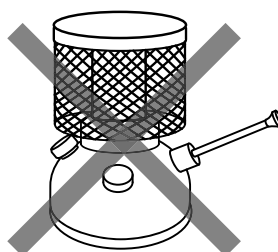
※加圧式石油ストーブは使用しないでください。

※石油ストーブの着火時は一酸化炭素が発生しやすいため、全部のベンチレーションを開放した状態にしてください。

- ・設置場所：壁・天井から100cm以上離してください。



対流形



加圧式

■調理器具を使用する場合

- ・使用可能器具：OD缶、CB缶を使用する調理器具

※薪、炭、ペレット燃料を使用する器具、灯油やガソリンなどの可燃性・引火性液体を使用した器具は使用しないでください。

- ・設置場所：壁・天井から100cm以上離してください。

■薪ストーブを使用する場合

- 当社指定の薪ストーブ以外は使用しないでください。
- 初めてストーブを使用される際は、テントの外でストーブの塗装剤を焼き切るまで30分～1時間程度燃焼させてください。ストーブの塗装剤を焼き切るまで煙と匂いが多く発生します。
- 煙突の出口から周囲の燃える物がある場所まで、少なくとも3m離してご使用ください。
- 着火時点からストーブのドアを閉めて燃焼が安定するまでは、テントのドアとベンチレーターをすべて開けておいてください。着火時は一酸化炭素が発生しやすく危険です。

- よく乾燥した広葉樹の薪や当社指定の燃料以外は燃やさないでください。不完全燃焼が発生し、煙が逆流する可能性があります。紙類や枯れ葉などは火の粉が多く出る可能性があります。火災の原因となるため危険です。
- 薪の追加投入は速やかに行い、投入後は直ちにドアを閉めてください。一酸化炭素がテント内に流出する危険性があります。
- ストーブの扉を絶対に開けたままにしないでください。テント内に一酸化炭素を含む煙や、火の粉が漏出する恐れがあり大変危険です。
- ご使用中に気分が悪くなったり体調に違和感を感じられた場合は、直ちに使用を中止してください。
- 必ず煙突がストーブ本体にしっかりと固定され、テントの外へ煙が排出される状態でご使用ください。また一酸化炭素を含む煙がテント内に漏れないよう、ご使用前・一定の期間おきに必ず煙突の接続をご確認ください。
- テントの中で、火のついた薪や燃料をストーブから取り出さないでください。火災や火傷の原因になり危険です。
- 煙突が詰まるとテント内へ排気ガスが逆流したり、煙突から火の粉が飛び散り、火災やテントの損傷を引き起こす可能性があります。使用後、使用前には必ず煙突内部の確認と掃除を行なってください。
- ストーブ内で灰がつまると一酸化炭素の逆流や火災の原因になり危険です。定期的にストーブ内の灰を捨てて、煙突内部の煤を取り除いてください。
- ストーブに薪を入れすぎないようにしてください。煙突表面が赤くなったり、煙突から火花が噴出する場合は、過剰燃焼による火災のおそれがあるため、薪の投入量を調整してください。
- ストーブ内で灰がつまると一酸化炭素の逆流や火災の原因になり危険です。定期的にストーブ内の灰を捨てて、煙突内部の煤を取り除いてください。
- ストーブ内の灰の処理や清掃を行う際には、必ずテントのドアとベンチレーターをすべて開けてから行ってください。燃焼による一酸化炭素がテントに流出するおそれがあります。

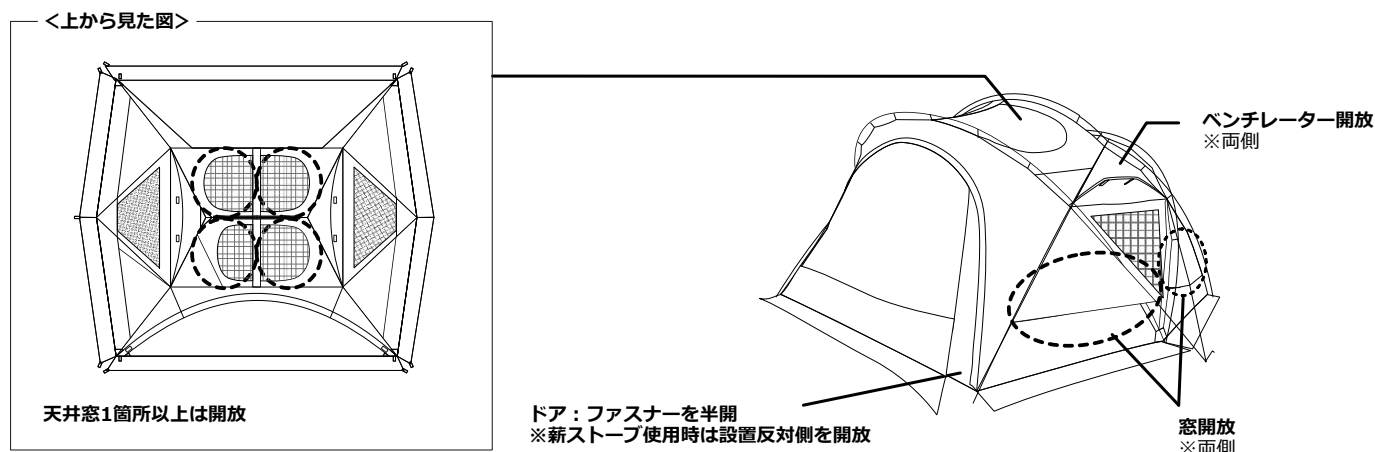
(火災のリスク)

- ・火気器具を使用される場合は、ご使用器具の取扱説明書をよく読み正しく安全にご使用ください。
- ・燃料式ランタン（ガソリン、アルコール、ガス）は使用しないでください。
- ・万が一に備え、使用中はテントのそばを離れず、消火器あるいは水を張ったバケツなどをご準備ください。
- ・テントが大きく揺れたり、倒壊の恐れがある強風時は火気器具を使用しないでください。

- ・火気器具の周りに引火するおそれのある物を絶対に置かないでください。
- ・換気のために開いたドアは風の影響で思わぬ方向へなびく可能性があるため、火気器具と接触しないよう、ペグや留め具で固定してください。

(一酸化炭素中毒のリスク)

- ・空気の循環を促すため、必要十分な通気を確保してください。（下図参照）



- ・一酸化炭素チェッカーを必ずご使用ください。また、一酸化炭素チェッカーの数値が0であっても、その数値を過信せず、煙の匂いや目の痛みなどの異常を感じた際には、換気を行ってください。
- ・火気器具使用中は1時間ごとに換気を行ってください。
- ・火気器具を点けたまま就寝しないでください。完全に鎮火したことを確認してからご就寝ください。（熱および結露の影響）
- ・火気器具の使用による水蒸気、調理による油跳ねや湯気の影響で、通常使用よりも結露が促進されたりテント生地劣化が早まる可能性があります。

(その他)

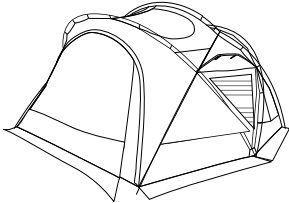
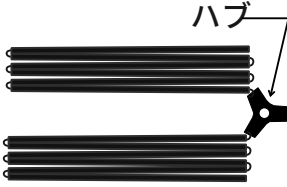
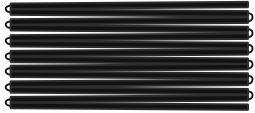
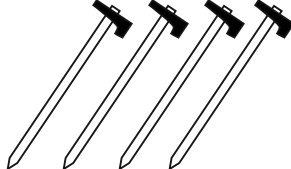
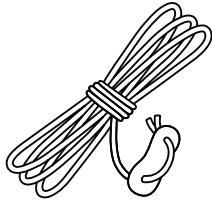
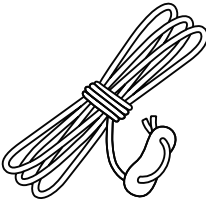
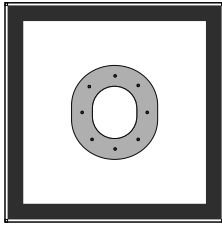
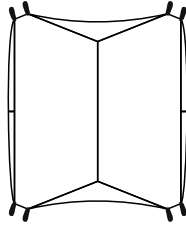
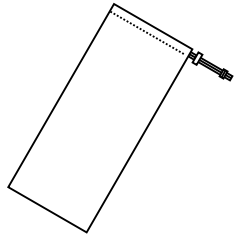
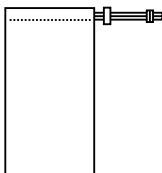
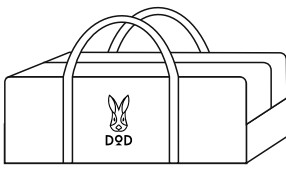
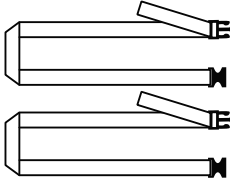
- ・緊急時に備え、ドアのファスナーをすぐに入出力できるくらい開けたまま使用し、避難経路を確保してください。テントへの出入りの妨げになる場所に荷物や火気器具を置かないでください。
- ・焚き火や火気器具等の使用が禁じられている場所では使用しないでください。

■免責事項

- ・火気器具使用において発生した、事故、怪我、火傷、火災等に対する一切の責任は負いかねます。

セット内容

数量の確認を必ず行ってください。

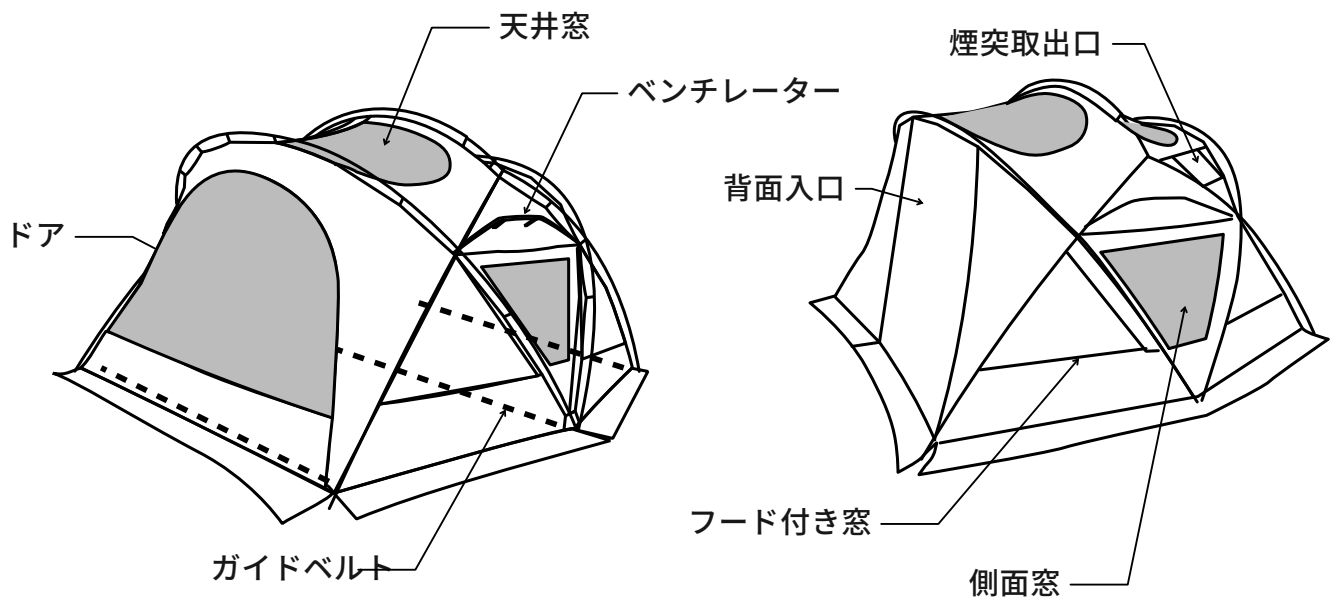
① テント生地	② Y型ポール	③ V型ポール	④ サイドポール × 2
	 開くとY型に展開します。 Y型・V型のポールで1対です。	 開くとV型に展開します。 Y型・V型のポールで1対です。	
⑤ ガイドベルト (長)	⑥ ガイドベルト (短) × 2	⑦ ペグ × 15	⑧ ロープ (長) × 3
 ※テント生地に取り付済	 ※テント生地に取り付済		 270cm
⑨ ロープ (短) × 4	⑩ 煙突用生地	⑪ フライシート	⑫ ポール用収納袋
 170cm		 ゴム紐	
⑬ ペグ・ロープ用収納袋	⑭ キャリーバッグ	⑮ タイベルト × 2	
			

製品仕様

材質	テント生地、フライシート：75Dポリエステルリップストップ（PUコーティング）
	煙突用生地：ポリエステル、グラスファイバー、シリコン
	煙突口金具：ステンレス鋼
	ポール：アルミ合金
	ペグ：スチール
原産国	キャリーバッグ：150Dポリエステル（PUコーティング）
	グ）

中国

各部の名称



設営方法



必ず2人以上で
設営を行って
ください。



すべてのロープを
ペグで固定
してください。



設営・撤収方法は
製品ページ上でも
詳しく見るができます。



① テント生地を広げます。



② ポールを組み立てます。

ポールを組み立てる際は、各節を完全に差し込んでください。不十分は組み立てはポールの破損の原因となります。また、ポールはあらかじめ曲げ加工が施されています。ポール全体が弧を描くよう差し込みの向きを調整してください。

○



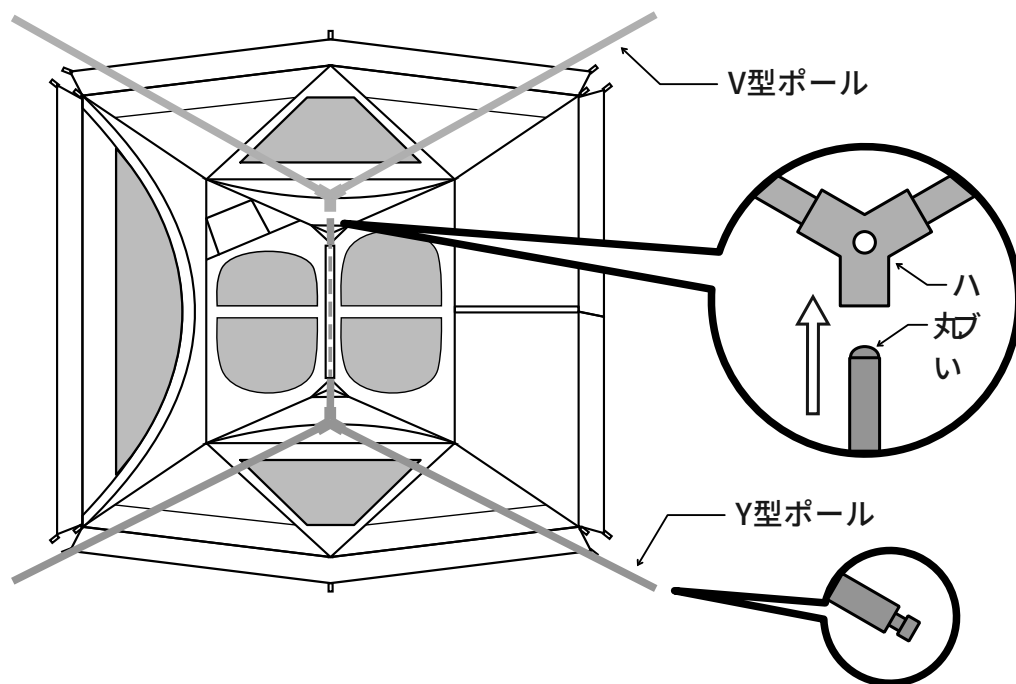
×



③ Y型ポールとV型ポールを接続します。

Y型ポールの丸い先端をテント生地のパールスリーブに通し、V型ポールのハブと接続します。

※ポールをスリーブに通す際は、引っ張らず押し入れてください。



④ グロメットにポールを差し込みます。

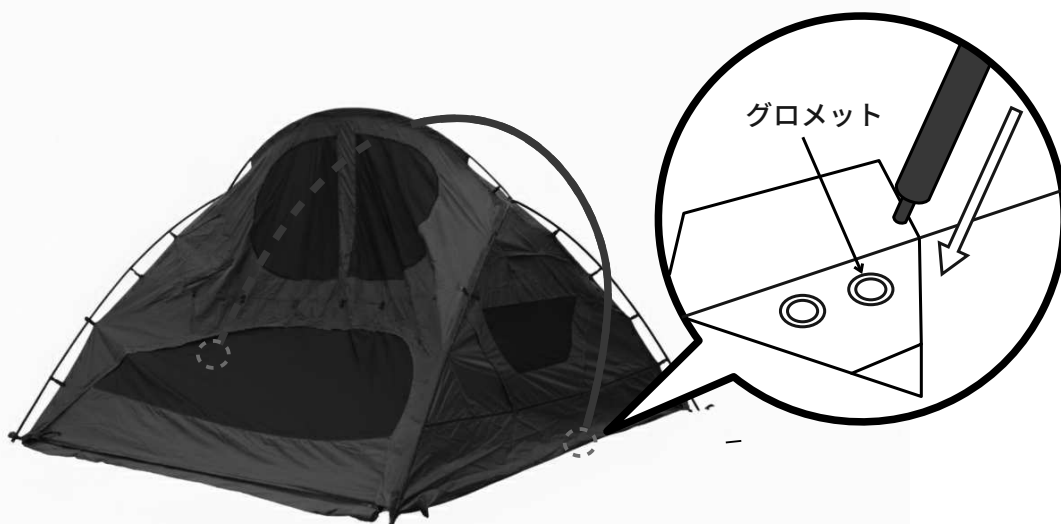
接続したY型とV型のポールの先端をテント生地四隅のグロメットに差し込みます。



⑤ テント生地フックをポールへ引っ掛けます。



⑥ サイドポールをテント生地グロメットに差し込みます。
立てているポール側のグロメットに差し込んでください。



ポールを曲げる際は、以下をご確認ください。

- ・スリーブやテント生地に偏りやシワがなく、生地がつっぱっていないこと。
- ・~~テントのベルト類が引っかかり、ポールの変形を妨げていないこと。~~

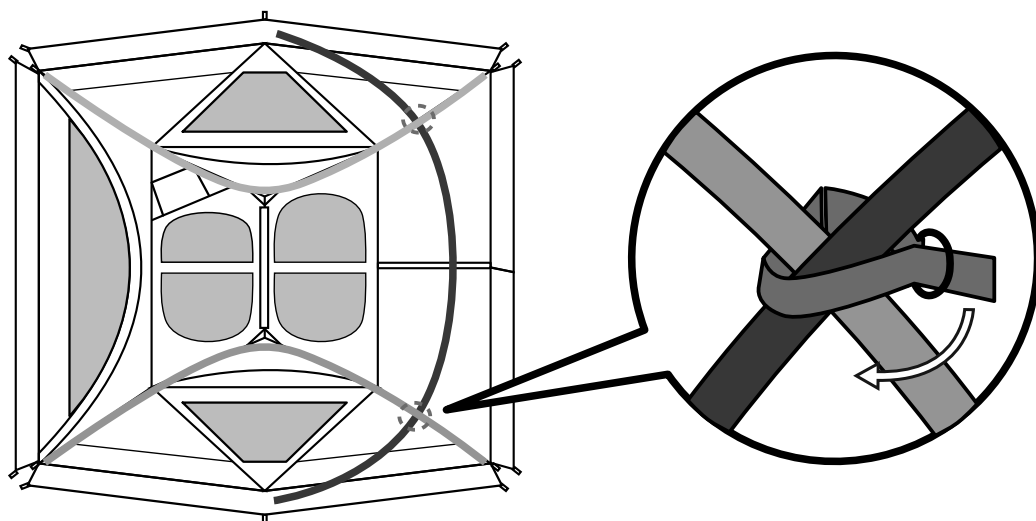


注意

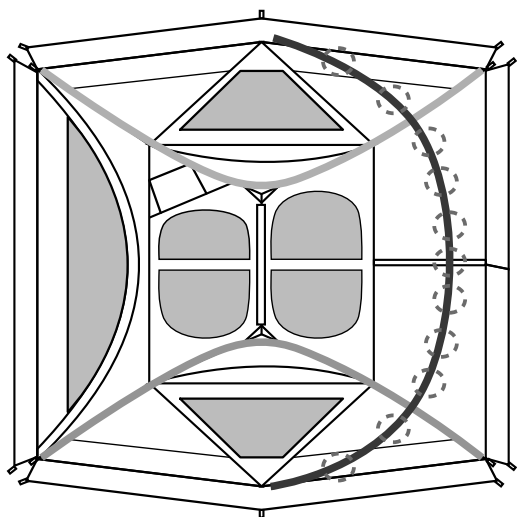
ポールを曲げる際は、ポールに大きな張力がかかります。
ポールから急に手を離したり、無理な力を加えたりしないでください。

⑦ ポール交差部分を面ファスナーで固定します。

1ポールにつきクロス箇所固定ベルトが2箇所あります。



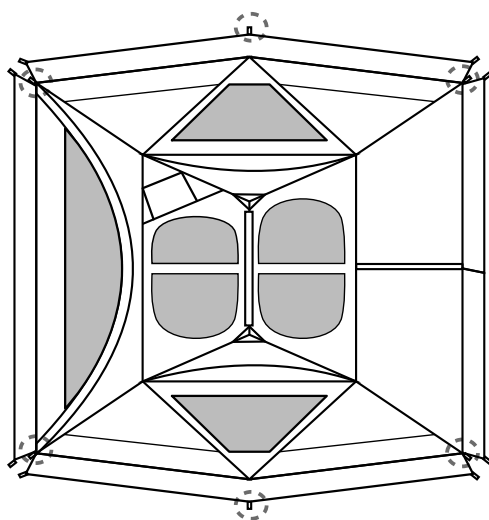
⑧ テント生地フックをポールへ引っ掛けてください。



⑨ 反対側も同様に組み立てます。

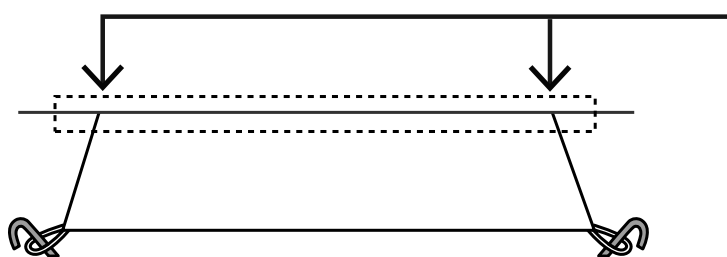


⑩ ポールの付け根を6箇所ペグダウンします。
その他必要に応じて、スカートペグダウンしてください。



注意

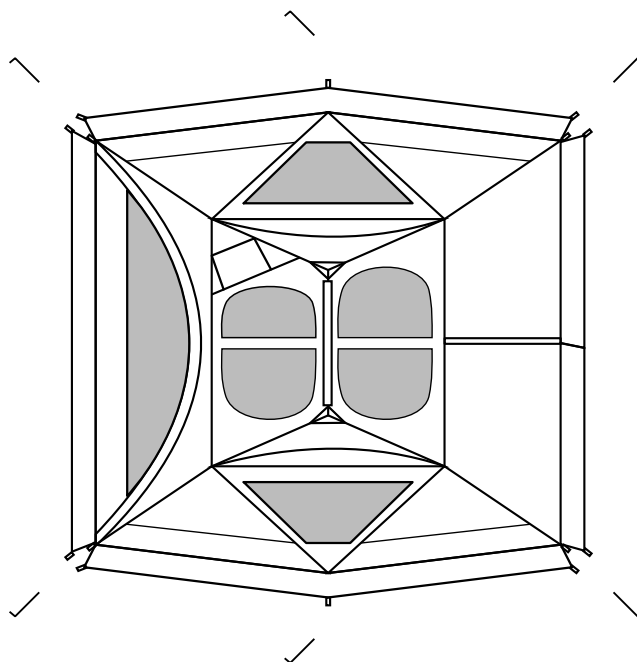
・スカート部分をペグダウンして本体を支えたり、引っ張ってテントの位置を調整したりしないでください。破損の原因となります。



スカートはテント本体を支える強度を備えていません。スカート付け根部分を強く引っ張るとダメージを受けやすいので取り扱いにご注意ください。

撤収方法

- ① ペグをすべて取り外します。



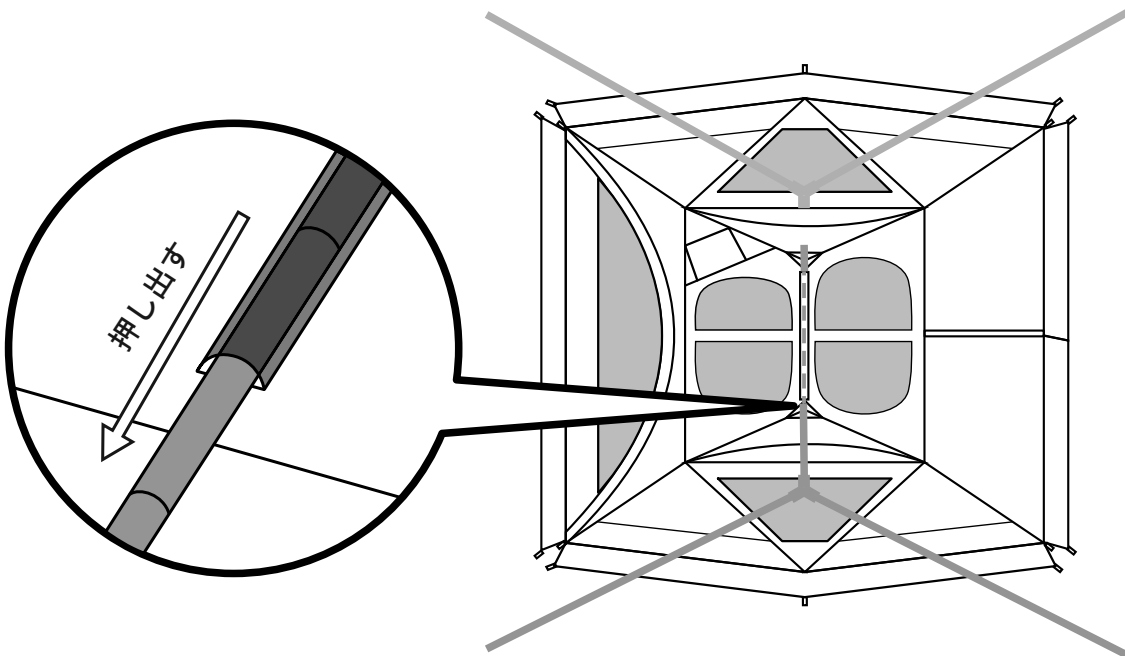
- ② サイドポールのフック、交差部分の面ファスナーを取り外し、グロメットから抜きます。



- ③ Y型、V型のポールに取り付けられたフックをすべて外し、先端をグロメットから抜き取ります。



- ④ Y型ポールをV型ポールのハブから抜き、スリーブから押し出すように取り外します。



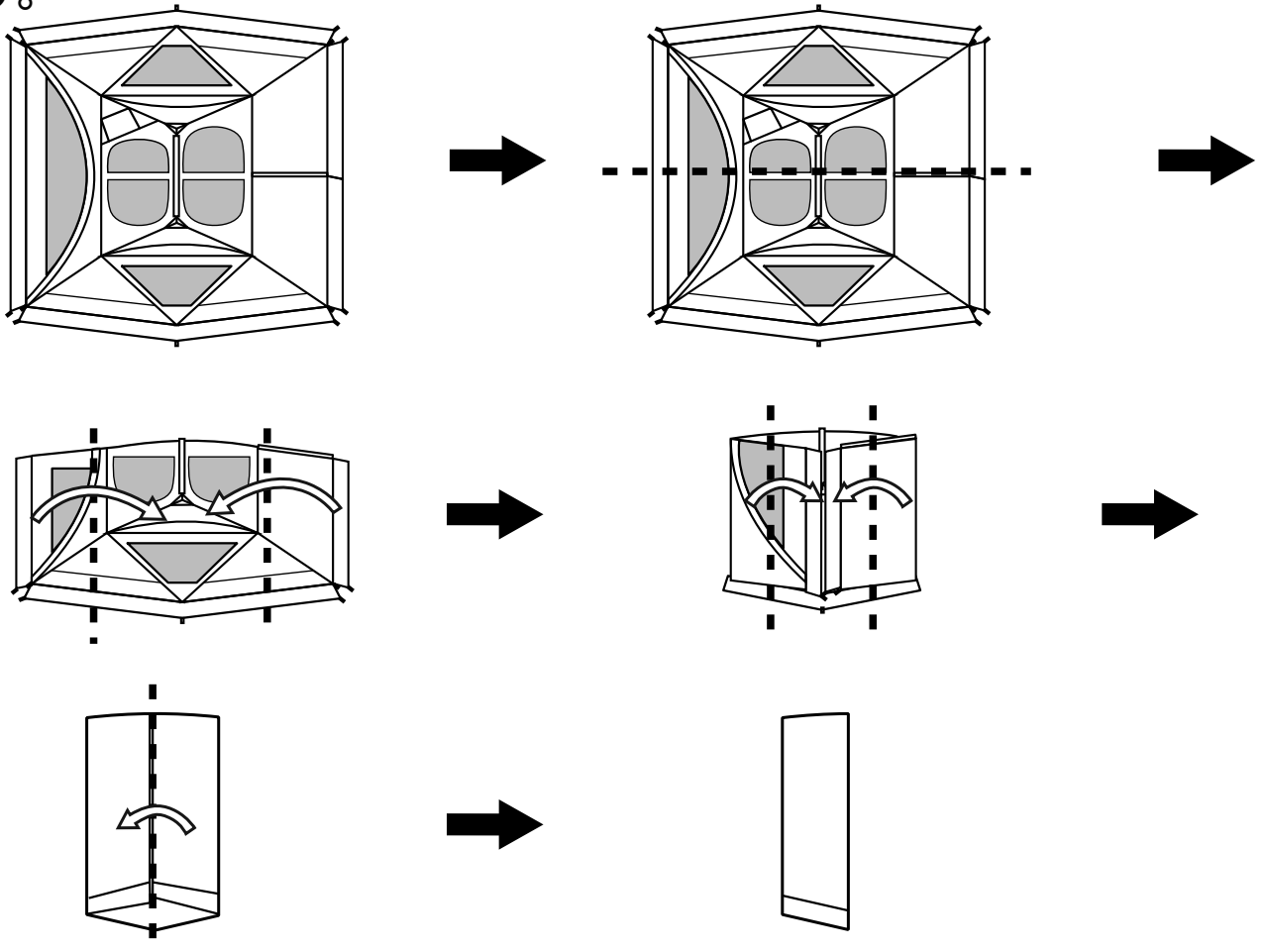
⑤ ポールを折りたたみ、ポール用収納袋に収納します。

ポール内のゴム紐への張力が均一になるよう、ポールの中間付近から折りたたんでいくようにしてください。順序を間違えると張力が偏り、ゴム紐が切れる原因となります。

POINT | ポールの折りたたみ方



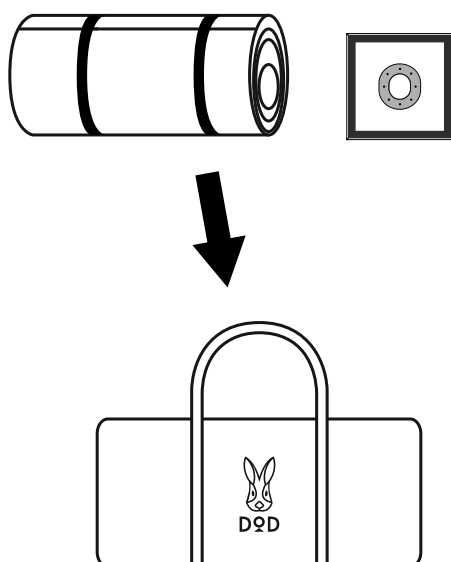
⑥ テント生地をキャリーバッグのサイズに合わせて折りたたみます。



- ⑦ テント生地の上にポールを乗せて端から巻き、タイベルトで固定します。

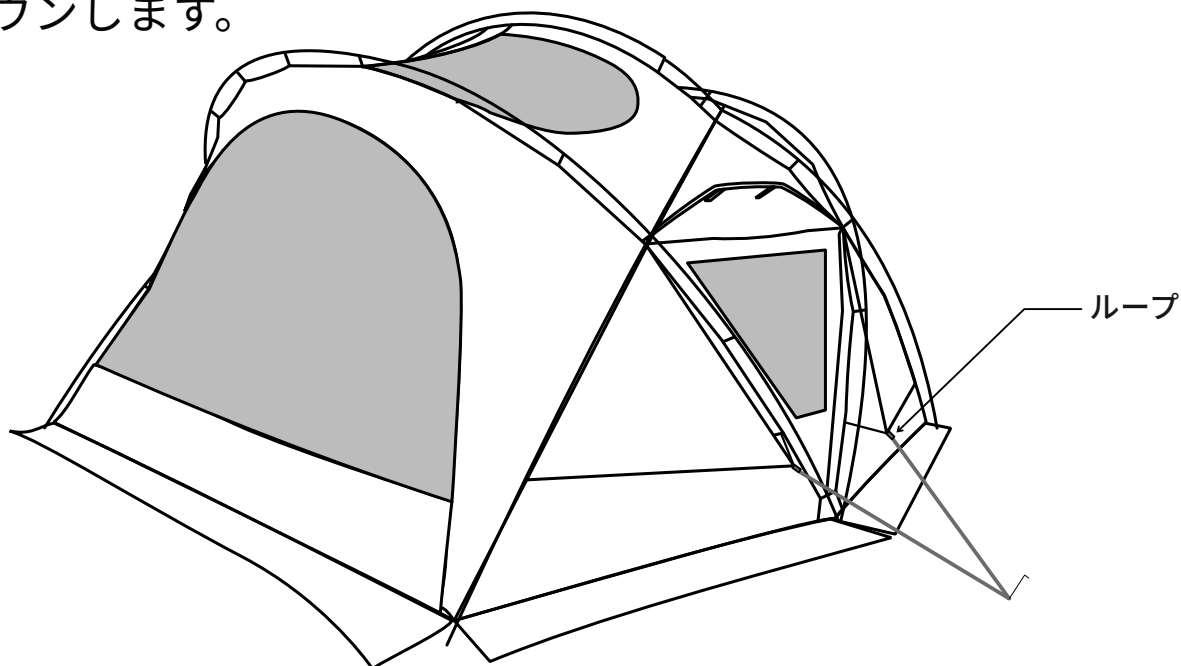


- ⑧ 煙突用生地なども一緒にキャリーバッグに入れて撤収完了です。

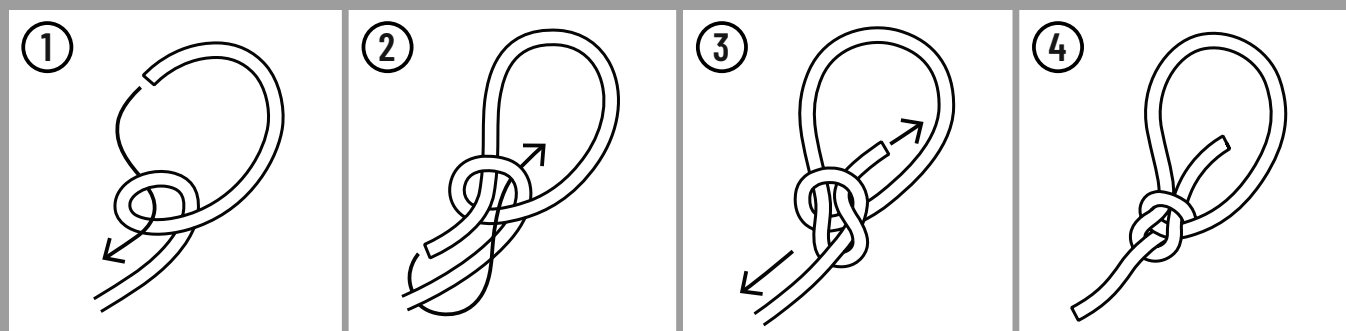


フード付き窓開放方法

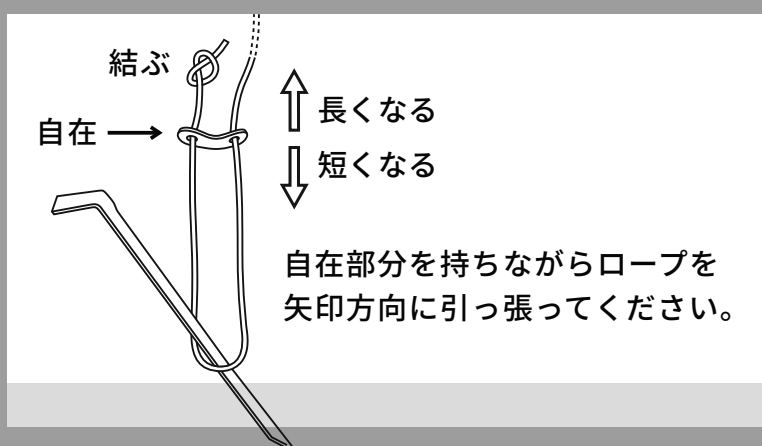
フードのファスナーを開け、ループにロープ（短）をつけペグダウンします。



POINT | ロープの結び方 (もやい結び)

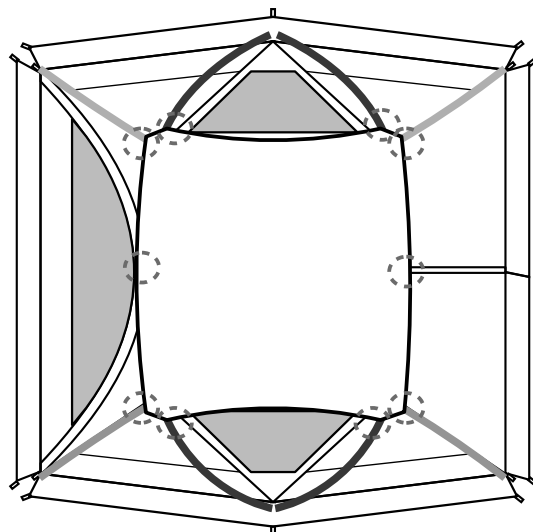


POINT | ロープの調整方法

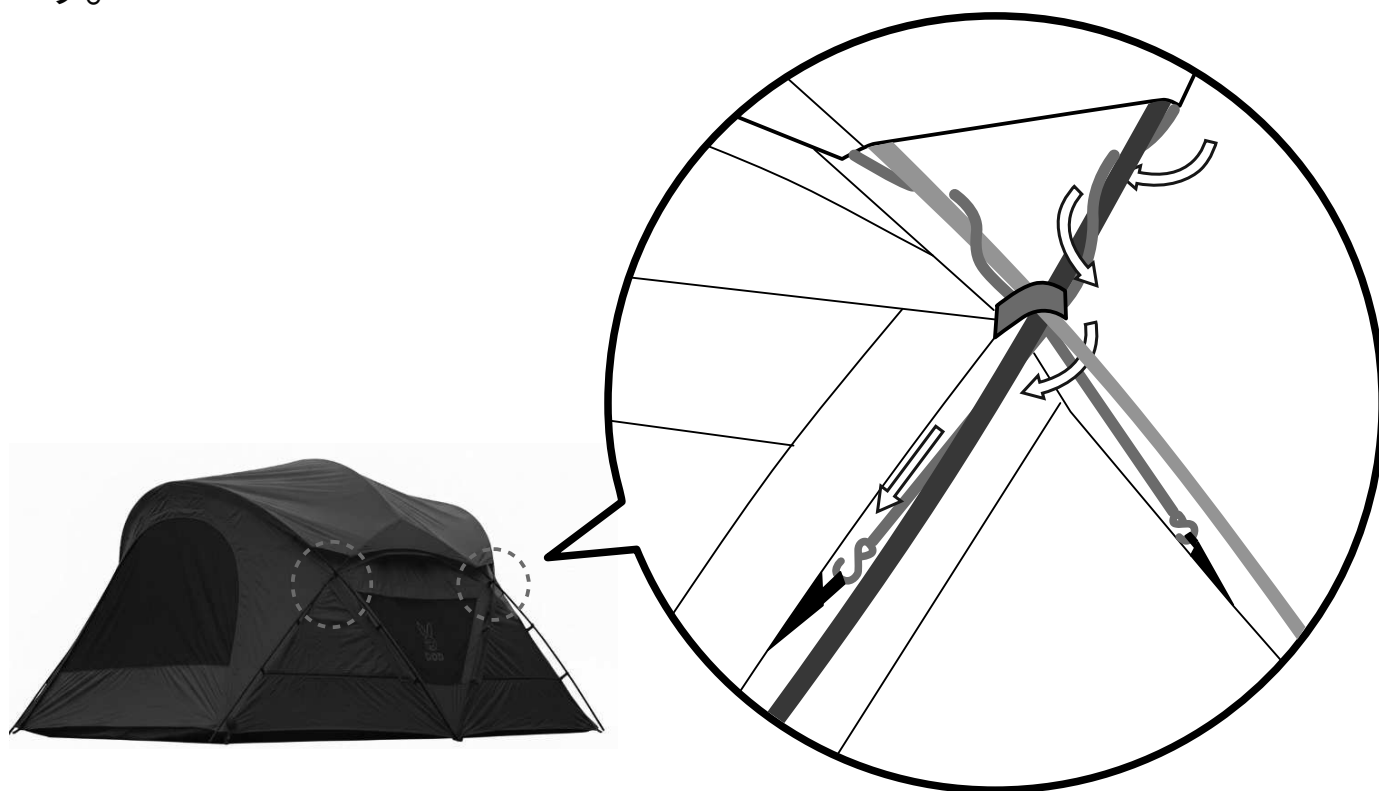


フライシート取り付け方法

フライシートをテントに被せ、面ファスナーをポールに固定します。



ゴム紐をポールに巻き付けながら引っ張り、フックを引っ掛けます。

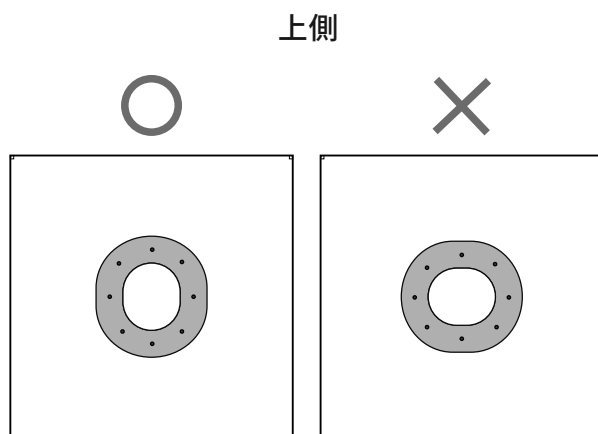


煙突用生地取り付け方法

テントの煙突箇所ファスナーを開き、生地を巻き上げてトグルで留めます。

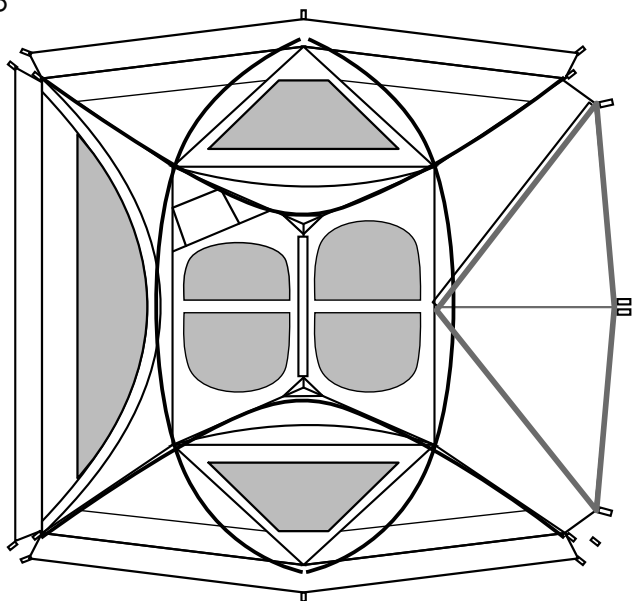


煙突用生地を長円が縦になる向きで取り付けます。

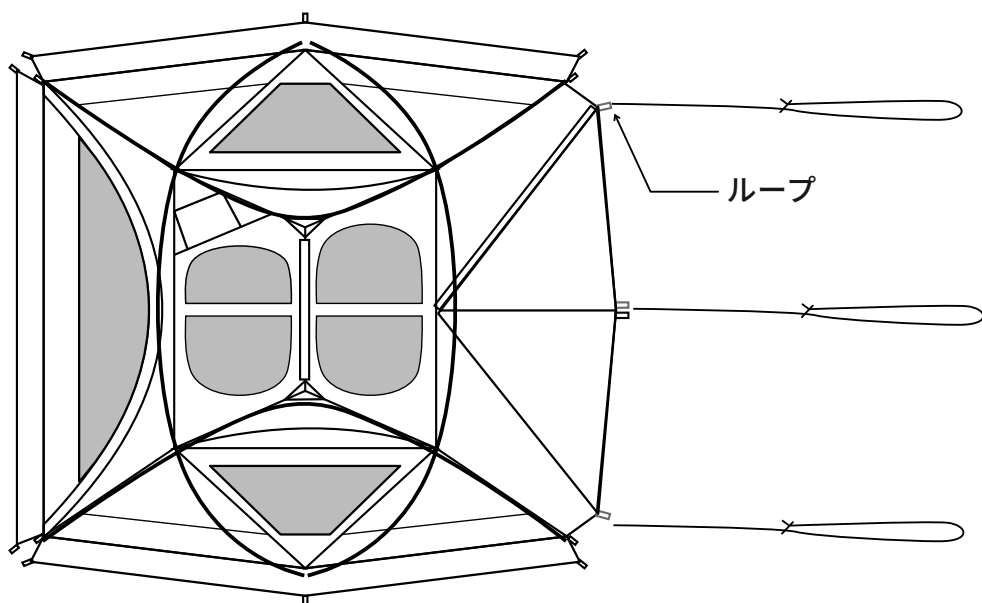


ガシーンテント接続方法

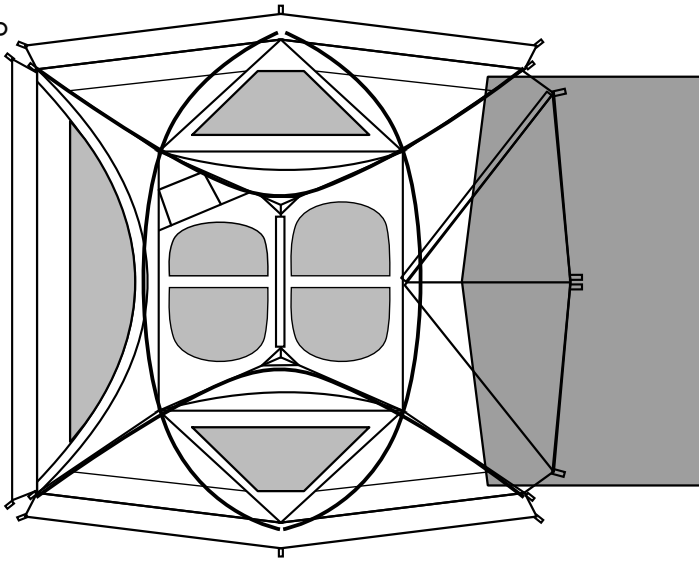
ガシーンドーム背面入口のセンタージッパーを開けて生地を取り出します。



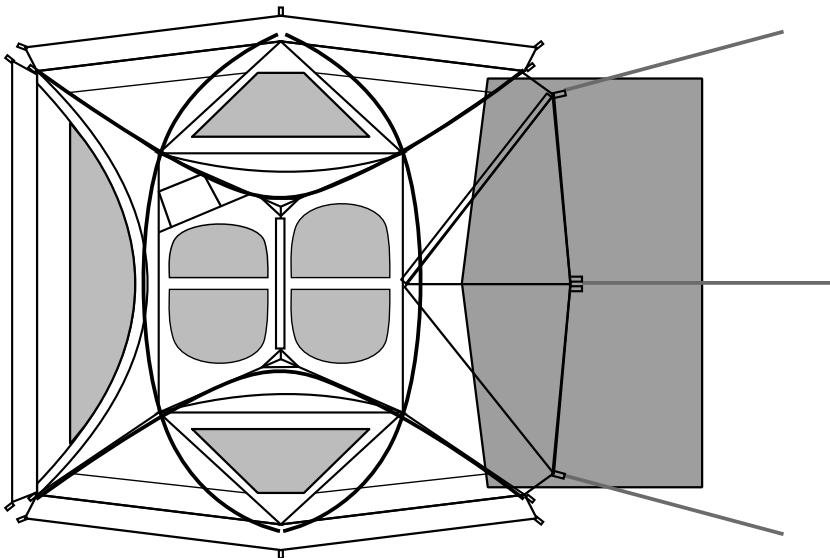
スカートの3個所のループにロープ（長）を取り付けます。



組み立てたガシーンテントをガシーンドームに少し入るように設置します。



取り出した生地をテントに被せ、ロープ（長）をペグダウンします。



ロープを固定する際は、テントの外形が変形し過ぎない様、引く力を加減してください。強く引きすぎるとポールや生地などに大きな負荷が掛かり、破損を引き起こす原因となります。

収納・保管方法

使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。

濡れたまま保管すると、色移りやカビ、腐食、劣化の原因となります。特に長期間使用せず保管する際は、乾燥後でも湿気がこもる可能性があるため、定期的に広げて風に当てたり、乾燥剤を用いるなどして、なるべく湿気が多くならない状態で保管ください。汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。※シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色の原因となるので、使用しないでください。

**高温多湿を避け、直射日光の当たらない
風通しのよい場所に保管してください。**

保管方法を誤ってしまうと、色移りやカビ、腐食、劣化の原因となります。

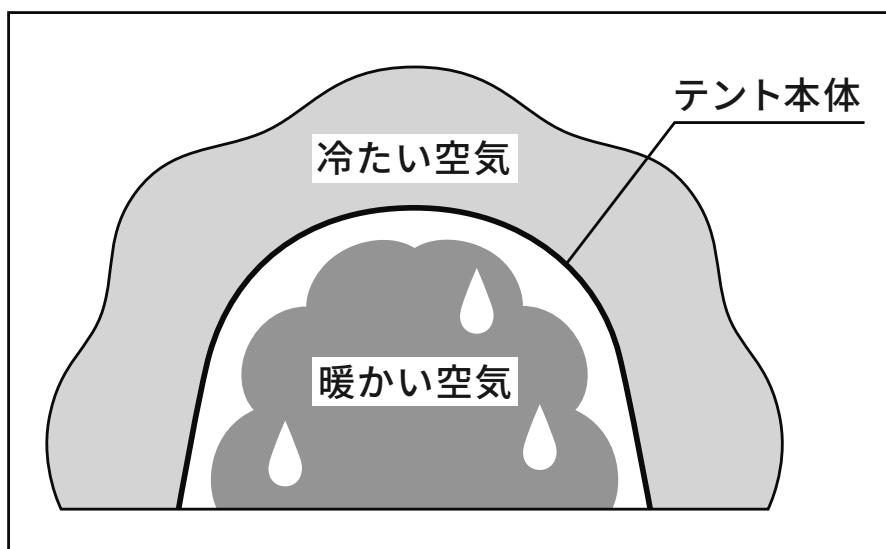
廃棄の際は、各地方団体の指示に従って廃棄してください。

快適にご使用いただくためのQ&A

Q テント内に浸水、雨漏りします。

A 結露が原因の場合がございます。定期的に換気を行ってください。
ベンチレーターがある場合は開けておくことで結露が軽減されます。

防水加工が施されたテントやタープ生地は、外気との温度差が大きくなると、水が垂れてしまうほど結露してしまう場合がございます。



Q テント・タープの縫い目から雨漏りします。

A シームシーリング剤（目止め液）を塗布してください。

テント・タープは防水処理を施しております。しかしながら縫い目やジッパーの合わせ目など、構造上・生産工程上シームシーリングを施せない部分がございます。そういったところは雨量によって浸水する場合もございます。より快適にテントをご使用いただくため、シームシーリング剤の使用を推奨いたします。（シームシーリング剤は付属しておりません。）また、シームシーリングの剥離、劣化による雨漏りが原因の場合もございますので、定期的にメンテナンスを行ってください。

Q

**テント・タープを使用後、
保管方法はどのようにすればよいですか。**

A

使用後は汚れを拭き取り、乾燥させて収納してください。
保管の際も高温多湿を避け、直射日光の当たらない
風通しのよい場所にしてください。

濡れたまま保管すると、カビ、腐食、劣化、防水／撥水機能の低下の原因となります。※汚れを拭き取る際、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用はご遠慮ください。色落ちや変色などの原因となります。

Q

テント・タープの撥水性が弱まってきました。

A

市販の撥水スプレーを使用してください。
テントの撥水加工はご使用を重ねると徐々に機能が低下します。
※スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q

部品の購入はどのようにすればよいですか。

A

通常使用による部品の消耗などにつきましては、
下記ページにて交換用部品を販売しております。

※ご要望の部品がない場合は、弊社サポートまでお問い合わせください。

【補修パーツページ】



https://store.dod.camp/c/item/repair_parts

Q

製品に不具合があります。

A

お客様より寄せられるご質問を、HPの「よくあるご質問」でご紹介しております。解決せず不良が疑われる場合にはwebページより弊社サポートまでご連絡ください。

※テント等の修理についてもHPよりご確認ください。

【FAQ】



<https://faq.be-s.co.jp/dod-faq/>

製品に関するよくある質問を掲載しております。

【お問い合わせフォーム】



<https://www.be-s.co.jp/contact>

TEL:050-5305-9905（平日10:00～13:00 / 14:00～17:00 土日祝日、盆休、年末年始休）

※サービス向上のため、お電話の内容は全て録音させていただいております。

※出来る限り WEB サイトお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

※お問い合わせの際は、製品名、製品型番、製造番号、ご購入店名、
ご購入年月日、ご住所、お名前、ご連絡先をお知らせください。

Q

保証書がありません。

A

本製品に保証書の付属はございません。

通常の使用状態にて製品に不具合や破損が見られた場合は、ご購入日また製品到着日より、1年間は無償で対応させていただきます。（ペグやロープなどの消耗品を除く）詳しい保証規定についてはこちらをご参照ください。

<https://www.dod.camp/support/warranty/>

Q

DOD製品の詳細について知りたいです。

A

製品ページでご案内しております。また、新製品やイベント情報、キャンプに関する情報などはSNSでもご案内しております。

【製品ページ】



DODキャンプ

検索

<https://www.dod.camp/>



【販売ページ】



DOD STORE

検索

<https://store.dod.camp/>



【情報配信ツール】

DOD camp+us（DOD公式アプリ「ディーオーディーキャンパス」）

DODを体感しながらみんなで創り上げるコミュニティアプリ。

<https://subscription.app.c-rayon.com/app/dodcampus/home>



X (Twitter)

@dod_camp

https://www.twitter.com/dod_camp/



Facebook

@doppelgangeroutdoor

<https://www.facebook.com/doppelgangeroutdoor>



Instagram

@dod.camp

<https://www.instagram.com/dod.camp/>



Tiktok

@dod_camp

https://www.tiktok.com/@dod_camp



Youtube

@dodcamp

<https://www.youtube.com/DODCAMP/>

DOD JOURNAL

最新情報や商品開発の裏話などを公開しています。

<https://www.dod.camp/journal/>



ビーズ株式会社
be-s Co., Ltd.

〒577-0063 大阪府東大阪市川俣1丁目14番33号

※当説明書内容の無断転用を禁止します

© 2025 be-s Co., Ltd.

